

治療後2週間目の診察を終えられた方へ

皮膚について

- ・皮膚炎症状(発赤・かゆみ・ひりつき)が落ち着いたら、タオルなどを使用して徐々に通常通り洗ってください。
- ・照射範囲は汗や皮脂が出にくい状態が1年間続きます。皮膚は汗・皮脂で守られているため、照射後1年間は保湿剤を塗ることをおすすめします。汗腺や皮脂腺の回復には個人差があり、完全に元通りにはなりません。1年を過ぎたら徐々に回復してきます。
- ・汗が出ないことにより、運動後や入浴後に照射範囲が赤くなり、熱がこもることがあります。
- ・照射範囲は日焼けのように茶色くなり、2-3年かけて色は薄くなります。

乳房の変化

- ・照射により乳房は硬くなるがありますが、この硬さは1-2年かけて落ち着いていきます。
- ・照射によって皮膚が厚くなり、終了後3-6カ月目に乳房がむくんだり張ったりすることがあります。3-6カ月かけて落ち着いてきます。

放射線肺炎

- ・終了後2カ月-1年の間に、100人に1人の割合で照射による肺炎が起きることがあります。
- ・微熱や空咳が続く時は、医療機関を受診してください。当院であれば一般内科(1階10番)、近医であれば呼吸器内科を受診してください。他院を受診する際は、放射線治療を受けたことを医師に伝えてください。

肋骨骨折

- ・終了後2-5年の間に照射範囲の肋骨が脆くなり、200人に1人の割合で肋骨にひびが入ることがあります。
- ・照射側の肋骨に強い痛みがある時は、近医の整形外科を受診してください。

今後の放射線治療について

- ・今後、他院で放射線治療を行う際には、放射線治療を受けたことがあると医師にお伝えください。基本的に同じ部位に放射線治療を行うことはありません。
- ・レントゲン、マンモグラフィー、CTなどの検査は受けていただいて問題ありません。

今後は、約6か月後・約1年後に定期診察を行っていきます。

放射線治療を終了された方へ

皮膚の ケア

- ・皮膚炎のピークは終了後約2-7日になります。次回の診察までは、これまでと同様のケアを継続してください。
- ・照射範囲へのテープ類の貼付、刺激を感じる入浴剤の使用、プール、温泉、サウナは、皮膚への刺激になるので、次回の診察までは控えるようにしてください。
- ・マークは消えて構いませんが、照射範囲側のマークはこすると刺激になるため、無理にこすって消さないようにしてください。
- ・次回の診察までにかゆみやひりつきといった症状が辛くなった時は、我慢せずご連絡ください。(必要時予約を早めることができます)

乳房痛

- ・照射により痛みが増した方は、終了後も症状が続くことがあります。終了後約2-4週間で、照射前と同じ程度まで改善します。
- ・痛みが気になる際は鎮痛剤を服用してください。

倦怠感

- ・照射中に感じただるさや眠気は、終了後も続く可能性がありますが、約2週間で改善していきます。
- ・眠気やだるさを感じる時は、無理をせず休息をとるようにして下さい。